

ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

坂の上の苦も

～ 奇跡の山 高尾山散策～

(JR中央線高尾駅 ～ 高尾登山電鉄高尾山駅)



関東も梅雨入りして、蒸し暑い日々が続きます。

今回のネイチャーウォークはあいにくの曇り空。ですが、逆に夏の暑さが幾分抑えられて、歩くのにはちょうど良い気温であったかもしれません。

今回は、景信山(標高 727m)、小仏城山(標高 670m)、そして高尾山(標高 599m)と、3つの山を縦走します。

今回は、直線距離では8km程度ですが、高低差は最大で400mを超えるネイチャー屈指の健脚コースでした。

高尾駅から、バスに乗って、小仏バス停(標高 300m)へ。そこから景信山の登山口(標高 350m)まで歩きます。

途中、赤い実がなっている木を発見。その赤い色と、食べてみたら甘いことから、キイチゴという声が挙がっていました。でも、この実の正体はコウゾ。樹皮が和紙の原料になることで有名な低木ですが、実も食べられるのです。ジャムにするとおいしいらしいですよ。



▲コウゾの実。少しねばねばした糸をひくのが特徴です。



景信山の登山口から本格的な山道です。登山口に至るまでの段階で、すでにバテ気味の人も幾人かいらっしやる様でしたが、それでも元気に山道を登ります。

でも、急な坂道がずっと続くと、さすがに皆さん汗だくに。鳥の鳴き声に負けぬ「暑い」の大合唱が響きます。景信山の頂上に着く頃には、汗でシャツがびしょびしょになっている方も少なくなかったようです。



景信山の頂上を越えると、下り坂も多くなって、比較的楽なコースになりました。上り坂では暑い暑いと言っていた皆さんも、少しずつ余裕が出てきます。心地よく吹く風に、「涼しくて気持ちいい」との声も挙がり、自然に笑みがこぼれます

そうなると、野山に咲く美しい花を愛でる余裕もできます。ウリノキやホタルブクロなどの花々をみることで、山登りの苦もいくぶん和らいだのではないのでしょうか。



ホタルブクロの花



ウリノキの花

お昼ご飯の場所である小仏城山に到着。あとは高尾山まで、比較的緩やかな道のり・・・かと思いきや、ここに来てついに雨が！！

照りつける日差しを防ぎ、適度な気温を保って、坂の上の苦もいやしてくれていた雲がついに梅雨前線に敗れ、雨が降り出してしまいましたのです。

しかし、ここまで来たら後にはひけません。一路、高尾山を目指します。



満開のヤマボウシの花

高尾山を向かう途中の一丁平(標高 600 m)では、天気がよいと富士山を見ることができるとのことです。しかし、さすがに雨の天気では富士山を見ることができません。

しかし、富士にも劣らぬ見所がまだまだ残っていました。一丁平を越えたところで、満開のヤマボウシが咲き誇っていたのです。

あまりに見事なヤマボウシで、「こんなにすごいヤマボウシの花ははじめて見た」とか「これを見ただけで今日は本当にうれしい」といったように、参加者の皆さんからは次々と最大級の賛辞が贈られていました。



高尾山の頂上以降は、普通に整備された観光コース。めいめいが日本一勾配のあるケーブルカー、リフトで山を降りて、ネイチャーでも指折りの健脚コースも終了です。

参加してくださった皆さん、本当に、本当にお疲れ様でした！